

- 問1 イギリス（グレートブリテン及び北アイルランド連合王国）は、四つの地域が合わさって構成されている連合王国です。この国の国旗である「ユニオンジャック」は、イングランド、アイルランド、そしてグレートブリテン島の北部に位置する、独自の文化や歴史を持つある地域の旗を組み合わせで作られました。このカタカナ7文字で表記される地域の名称を答えなさい。（2018年 千葉県公立入試 類似）
- ウェールズ
 - スコットランド
 - アイルランド
 - イングランド
- 問2 EU（欧州連合）の加盟国間で見られる、一人あたりの国民総所得や経済発展レベルの不均衡について説明した文章として、最も適切なものはどれですか。（2024年 鳥取県公立入試 類似）
- EU加盟国はすべて共通通貨であるユーロを導入しているため、通貨の安定によって加盟国間の経済的な不均衡はすでに解消されている。
 - 2000年代以降に加盟した東ヨーロッパの国々は、西ヨーロッパの国々と比較して経済発展が遅れており、大きな経済格差が生じている。
 - EUは域外の国々に対しても関税を一切撤廃する政策をとっているため、世界全体との自由な貿易によって加盟国間の所得差はなくなっている。
 - EU発足以来、イギリスなどの主要な国が離脱した事例は一度もなく、すべての加盟国が緊密に連携して均一な経済水準を保っている。
- 問3 ピレネー山脈を挟んでフランスと隣接しているスペインの、経済や産業における特徴的な説明として、最も適切なものはどれですか。（2024年 長崎県公立入試 類似）
- ユーロなどの共通通貨は使用せず、自国独自の通貨を維持することで、独自の農業政策を推進している。
 - 欧州連合（EU）の共通通貨であるユーロを導入しており、周辺国との経済的な結びつきを強めている。
 - 主要作物である小麦の自給率が100パーセントを超えており、ヨーロッパ州を代表する穀物輸出拠点となっている。
 - EUには加盟しているが、共通通貨の導入に反対し、フランスとの貿易制限を行っている。
- 問4 地中海沿岸付近に見られる気候の月平均気温と月降水量の変化の特徴について説明したものとして、最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。（2025年 熊本県公立入試 類似）
- 夏に雨が集中し、冬は乾燥して極端に低温となる。
 - 年間を通して月平均気温の変化が小さく、毎月平均した降水量が見られる。
 - 年間を通して月降水量が極めて少なく、乾季が続く。
 - 夏に高温乾燥し、冬に温暖で一定の降水が見られる。
- 問5 ヨーロッパ連合（EU）の加盟国のうち、フランスなど多くの国々が共通通貨「ユーロ」を導入している目的や利点として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 徳島県公立入試 類似）
- 国境を越えた取引における両替の手間や為替変動のリスクをなくし、経済活動を活性化させるため
 - 加盟国がそれぞれ独自の判断で通貨の価値を自由に変更し、輸出を有利に進められるようにするため
 - 加盟国の財政政策を完全に一つに統合し、各国が独自の予算を組む必要をなくすため
 - ヨーロッパ以外の地域からの輸入品に対して共通の関税をかけ、域外との貿易を完全に遮断するため
- 問6 地中海沿岸の地域において、夏にオリーブやブドウ、オレンジといった果樹の栽培が盛んに行われている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 群馬県公立入試 類似）
- 夏の豊富な降水量を活用して、果実を大きく成長させる必要があるため
 - 夏の高温で乾燥する気候が、水分を逃がさない性質を持つ果樹の栽培に適しているため
 - 夏の冷涼な気候を利用して、病虫害の発生を抑えながら果実を成熟させるため
 - 夏に日射量が不足するため、光合成を助けるために地中海の反射光を利用するため
- 問7 ヨーロッパの諸国を調査した資料において、ある国では挨拶に「Guten Morgen」という言葉が使われ、かつEU加盟国の中で統計上の工業生産額が最も高いことが示されています。この国が属する言語系統と、その国の産業の特徴について述べた文として適切なものはどれですか。（2019年 三重県公立入試 類似）
- スラブ系言語のグループに属し、EU域外との貿易を主軸とした工業を展開している。
 - ラテン系言語のグループに属し、地中海式の農業と工業をバランスよく発展させている。
 - ゲルマン系言語のグループに属し、高度な技術力を背景にEUの工業を牽引している。
 - ゲルマン系言語のグループに属し、広大な土地を利用した小麦などの農業生産が中心となっている。
- 問8 ドイツの貿易構造について、輸出先の主要な相手国にオランダ、フランス、イタリアといったヨーロッパ州の諸国が多く含まれている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 富山県公立入試 類似）
- ヨーロッパ諸国はすべてドイツと同じ通貨を導入しており、為替変動のリスクが全くないため
 - 周辺諸国は資源が乏しく、ドイツから輸入した工業製品をそのままアジアへ再輸出しているため
 - ドイツは他の大陸の国々との貿易を法律で厳しく制限し、域内経済の保護を優先しているため
 - EU（ヨーロッパ連合）の加盟国間では関税が撤廃され、共通の市場として自由な貿易が行われているため
- 問9 ヨーロッパ州の中でも、広大な国土を活かした農業が非常に盛んであり、主要な穀物である小麦の自給率が100パーセントを超えている国の特徴として正しいものはどれですか。（2024年 長崎県公立入試 類似）
- フランスは、ヨーロッパ最大の農業国の一つであり、小麦などの穀物生産が盛んで、自給率も極めて高い。
 - スペインは、EU（欧州連合）に加盟しているものの、共通通貨であるユーロの導入を見送り、農業を主要産業としている。
 - スペインは、乾燥した気候を活かして小麦の自給率を100パーセント以上に高めているが、通貨は独自のものを使用している。
 - フランスは、農業よりも工業を優先する政策をとっているため、小麦などの主要な食料の多くを輸入に頼っている。
- 問10 1990年から2018年にかけての主要国の統計において、二酸化炭素の総排出量と一人当たりの排出量の両方が減少傾向にあり、環境対策が進んでいるとされる国を次の中から選びなさい。（2023年 奈良県公立入試 類似）
- 中国
 - アメリカ合衆国
 - ドイツ
 - 日本
- 問11 ドイツにおいて、水力を除く再生可能エネルギーの発電量が総発電量の4割近くを占めるほど増加し、原子力の割合が大幅に低下している背景にはどのような事情があるか。（2025年 青森県公立入試 類似）
- 国内でシェールガスが発見されたため、天然ガスによる火力発電を抑制している
 - 原子力発電の安全性が再評価され、老朽化した火力発電所を原子力へ置き換えている
 - 大規模なダム建設に適した地形が多く、水力発電を主力電源としている
 - 環境保護の観点から脱原子力政策を進め、風力や太陽光などの導入を促進している